



夏休みに、親子を対象とした「ボランティア体験講座」を西部福祉センターと安祥福祉センターで行いました。

暑い中、みなさん頑張って体験しました!

今回のような体験型の福祉学習を学校や団体向けに開催することもできます。詳しくは、特集(2ページ)をご覧ください。



音訳体験

親子ボランティア体験講座



視覚障がい者ガイドヘルプ体験

参加者の声

目が見えること、耳が聞こえることが当たり前だと思っていました。何か1つでも不自由になると、どれだけ大変なのかをつくづく感じました。

障がい者の方を見かけても、声をかけるのは難しいし、とても勇気がいります。

今回の体験を通して、自分の何かが変わればよいなと思っています。



要約筆記体験

参加者の声

この2日間で、福祉や防災などいろいろなことを知ることができました。参加して本当に良かったです。

特集 福祉学習ってなあに?

'13 9/15 第54号

編集と発行 / 社会福祉法人 安城市社会福祉協議会

〒446-0046 安城市赤松町大北78番地4(社会福祉会館内)

TEL 0566(77)2941 • FAX 0566(73)0437

E-mail syakyo@city.anjo.aichi.jp <http://www.anjo-syakyo.or.jp/>



ふくし豆知識 ~知っているようで知らないかも~

Q1 エレベーター内の鏡は何のためについているの?

Q2 音の出る信号機ってどんな音が流れているかな?

Q3 シャンプーについている「ギザギザ」は何かな?

A1 身だしなみを整えるための鏡だと思いませんか? 答えは、車いすの人がエレベーター内で方向転換できない際、後ろ向きで出るときに後方を確認するための鏡です。

A2 音響装置付信号機は視覚障がい者のために設置されています。誘導音には、擬音式とメロディ式があり、擬音式では「カッコー」(東西、もしくは主道路横断用)・「ピヨ」(南北、もしくは縦道路横断用)の音響が使用されています。メロディ式では、「通りゃんせ」をはじめとし、地方により様々なメロディが使われています。

A3 シャンプーの容器についている「ギザギザ」は、ユニバーサルデザイン※の一環として、シャンプーとリンスを区別できるように、付けられています。

※「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすることをいいます。

この本は、地震が起こった時、まずは命を守るために慌てないなどの取るべき行動が、絵や写真を使って分かりやすく書かれています。いざという時のために、大人も子どもも是非読んでみて下さい。

*社会福祉会館で貸し出しています。お問い合わせ▼事業係 ☎(77)2941



「子ども地震サバイバルマニュアル」 斎藤 槇 著 国崎 信江 著

「社会貢献」と聞くと、とても高度なことで、できそうなものがないように感じてしまいます。この本を読むと「ミ」を拾う。電車



「社会貢献ガイドブック 世界をよくする簡単な100の方法」 斎藤 槇 著

Pick UP! ふくしおすすめ本 中根文庫より



【問い合わせ】

【代表】江川(えがわ) (92) 1794
【副代表】角谷(すみ) (92) 1574

【活動内容】 高棚町を中心に、次の活動をしていきます。
①遠距離通学の小学一年生が単独で下校する際、自宅付近まで送り届ける。
②高齢者を対象に小物作り会や食事を実施する。(ふれあいサロン) 会を実施する。
③劇団をつくり、歌、楽器演奏、踊りなどで介護施設を訪問する。

【活動ついで嬉しいこと】 同じ町内にて顔は知っていても話す機会がなかった人と親しくなれたこと。小学生や高齢者と挨拶会話が積極的に行えるようになったこと。

【活動内容】

ふれあいサロンの紹介

ボランティア団体紹介

福祉学習ってなあに? ~知ってください 体験してください~

「福祉学習」と聞くと、「学習」=学校、子どもが対象だと思いませんか? 大人になっても、福祉学習を通して学ぶことはたくさんあります。職場の研修や町内会の勉強会、世代間交流での体験学習など、大人・子どもを問わず福祉学習を取り入れてみませんか。

車いす体験

障がい者とともに、生活の困りごとなどを考え、車いす体験をしながら使い方を学びます。体験と交流を通して、バリアフリー化の意義を考えます。

体験者の感想

車いすに乗ると、狭すぎる歩道や地割れしたアスファルトが気になった。



高齢者疑似体験

身体に重りを着けたり、特別なメガネなどを使用して高齢者の感覚を体験することで、高齢者への接し方などを学びます。4ページに養成講座の案内があります。

体験者の感想

視界が悪く、とても疲れました。お年寄りの気持ちがよくわかりました。



ガイド体験

視覚障がい者のお話を聞き、実際にアイマスクをしてガイド体験をします。また、目の見えない人にも便利な生活グッズも見る事ができます。

体験者の感想

目が見えなくても前向きに生きている姿に感動しました。



点訳体験

点字の成り立ちや役割を勉強し、実際に自分で打って、視覚障がい者に読んでもらいます。

体験者の感想

紙に一穴一穴打って文字にするなんて、大変だと思った。



音訳体験

人は目で見る情報が8割と言われていています。視覚障がい者に、音声で情報を伝えることを学びます。

体験者の感想

自分の声が違って聞こえた。目の見えない人に声で伝えるのは大切だと思う。



防災体験

正しい知識を身に付け、便利な防災グッズなどの作成を通して楽しく防災を学びます。

体験者の感想

ポリ袋で、あんなにおいしいカレーができるなんてびっくりしました。



手話体験

聴覚障がい者の言葉として、あいさつや自己紹介など、よく使う手話を勉強します。

体験者の感想

手話で自己紹介をしたい。相手の言いたいことが分かるようになりたい。



要約筆記体験

聴覚障がい者には、「文字でコミュニケーションをとる方法」があります。その場で相手の話を書きとって、内容を伝えます。

体験者の感想

中途失聴の方には、要約筆記が有効だと思いました。



ボランティアセンターでは、各種福祉学習のご相談に応じています。

講師派遣を希望する場合は、2か月前までにご連絡ください。

また、福祉学習に役立つ映像ソフトや図書の貸し出しもしていますので、ご利用ください。



ハートンからの
おしらせだよ！

**福祉まつり30周年記念事業
福祉講演会「特別じゃない
私はふつうの女の子」**

福祉まつり30周年を記念して、福祉講演会を開催します。
参加は無料で、申込みも不要です。
ぜひご来場ください。

講師▼佐野有美氏



講師プロフィール▼

豊川市出身。
生まれつき両腕と右足がない先天性四肢欠損症。
高校時代はチャリリーダーイングリブ部に所属。
社会人になってからは、事務員の傍らエッセー・詩集などの執筆業、歌手として活躍。

日程▼9月28日(土)

午後2時～3時30分
(午後1時30分開場)

場所▼文化センターマツパホール

その他▼駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関

などをご利用ください。
定員500名 満席の場合は、入場をお断りすることがあります。

問い合わせ▼

事業係 ☎(77) 2941

**西部福祉センター講座
「60歳からのボランティア講座」**

日程▼10月11日から12月20日の
金曜日(全8回)

午前10時30分～正午

場所▼西部福祉センター
2階 集会室

対象▼市内在住の60歳以上の人

内容▼初めての人を対象にしたボランティア講座

定員▼30名

参加費▼300円(8回分)

申込み▼9月20日(金)午前9時から

西部福祉センター窓口にて
受付

※9月21日(土)以降は電話受付も可

問い合わせ▼

西部福祉センター

☎(72) 6616

**高齢者疑似体験
スタッフ養成講座**

「おじいさん、おばあさんになるってどんなこと？」ということを手足に重りを付けたリ、特製ゴーグルで視界を悪くしたり、高齢者の身体を疑似体験するためのボランティアスタッフを養成します。主に小中学校の福祉学習の現場で活動しています。子どもたちにお年寄りを大切にすることを伝えるボランティアと一緒にしてみませんか？



日時▼11月14日(木)、21日(木)、28日(木)
(全3回)

午後1時30分～3時30分

場所▼社会福祉会館3階会議室

対象▼福祉や教育に関心のある人

定員▼20名

参加費▼300円(保険料として)

主催▼高齢者疑似体験指導サークル

「たけつま」

申込み・問い合わせ▼

ボランティアセンター

(社会福祉会館内)

☎(77) 2941

介護者のつどい

地区社協では、介護者のリフレッシュと情報交換の場として、介護者のつどいを開催します。
参加費・申込み不要で、途中での入退室も可能です。介護をしている人、介護に関心のある人など、お気軽にご参加ください。

地区名	日時	場所	問い合わせ
中部	10月10日(木) 午後1時30分～3時	中部福祉センター 1階 多目的室	中部地区社協 (中部福祉センター内) ☎76-0090
桜井	10月25日(金) 午後1時30分～3時30分	桜井福祉センター 3階 多目的室1	桜井地区社協 (桜井福祉センター内) ☎99-7365
東山	10月26日(土) 午後1時30分～3時	北部福祉センター 2階 研修室	東山地区社協 (北部福祉センター内) ☎97-5000



10/6日に第30回安城市福祉まつりを開催します。今年は「みんな持っている つながる力 笑顔の力」をサブテーマに行います。ぜひお越しください。

